

馬場校下における馬場小学童の登下校時見守り態勢について

活動状況

団体名	時間帯	場所・区域	人数	代表者	
たまみず子 サポート隊	第一長寿会	14:45～ 15:45～ (各学年別の下校時間 に合わせて活動)	馬場1番丁～ 馬場保育所前付近	約17人	栗田政治
	第二長寿会		東山交差点 「東山診療所」前	5人	吉田生春
	寿会		東山交差点 駐車場側	11人	平野 明
馬場公民館 交通安全部会	7:30～8:10	東山交差点	17人	今西芳博	
馬場小学校PTA	7:40～8:10	東山交差点	約70人	綿谷敏彦	
5団体			約 120人		

経緯

- ① 馬場校下における学童の登・下校時見守り活動は、公民館「交通安全部」、馬場小PTAが従前よりそれぞれに行っていた。当初は横断歩道の安全歩行の指導が主な任務だった。
- ② 2001年(平成13年)に起きた大阪の池田小学校事件をきっかけに、学童の登・下校時の安全を防犯の観点から捉える機運が盛り上がってきた。
- ③ 2005年(平成17年)に町連に対し、学校(教育委員会)から、学童見守り活動の要請があった。町連は、下校時という時間帯に活動できる校下3老人会に対して要請し、「たまみず子サポート隊」として発足し、現在に至っている。

「たまみず子」の由来

馬場小校歌3番目の

“間遠におつるたま水の 何時しか石を穿つなり”

から引用し、様々な場面で用いている。 例:縄跳び大会 「飛べ!たまみず子!」

問題点

馬場における「たまみず子サポート隊」は、70歳から加入になる「老人会」のメンバーが中心で、結成から10年が経ち、当時のメンバーは亡くなったり、それぞれにさらに高齢化し、新規参加者もいるとはいえ、メンバー不足で活動もままならない老人会もある。